

### ≫ ファンドの目的

このアクティブ運用型の上場投資信託（ETF）は、長期トータルリターンを最大化を目指します。

### ≫ ファンド概要

ファンドティッカー	MGOV
ISIN	US33738D8386
CUSIP	33738D838
iNAVティッカー	MGOVIV
ファンド設定日	2023/08/02
総経費率 <sup>△</sup>	0.66%
30日SEC利回り <sup>†</sup>	3.62%
主要取引所	NYSE Arca

### ≫ ファンド詳細

- 通常の市場環境下において、純資産（投資目的の借入金を含む）の80%以上を、米国政府が発行または保証する債券（長期米国債、中期米国債、短期米国債を含む）、または、米国政府機関もしくは米国政府支援機関が発行または保証する債券（以下、米国債を含め「政府証券」）のポートフォリオに投資することにより、投資目的の達成を目指します。
- ポートフォリオ運用チームは、トップダウンのマクロ経済見通しと定量的なリスクヘッジ、そしてボトムアップの証券選定を組み合わせた、規律正しく厳格かつ反復可能な投資プロセスを採用しています。具体的には、以下の分析を行います。
  - トータルリターン・シナリオ分析：金利、イールドカーブ、クレジットスプレッドの変動、または「ショック」の影響を、定量的に評価する個別証券およびポートフォリオレベルのリターンを評価します。
  - 証券の選定とセクター分析：マクロ市場のファンダメンタルズに基づき、コア MBS セクターと国債セクターについてトップダウンレビューを実施し、各セクターの組入比率を決定します。次に、個別証券のボトムアップ分析を行い、オーバーウェイト、ニュートラルウェイト、アンダーウェイトとなるサブセクターを決定します。
  - 監視：保有証券を体系的に分析し、証券およびポートフォリオのパフォーマンスの変化、ならびにリスク要因における重要な変化をモニタリングします。
  - パフォーマンス要因分析：デレージション、信用格付け、利回り、セクター、および流動性などのポートフォリオの主要属性について、詳細なトータルリターン分析を実施します。

### ≫ ファンド・アドバイザー

- 当ファンドは、First Trust Advisors L.P.によって選択・管理されます。
  - ポートフォリオ・マネージャーは、当ファンドのポートフォリオの加重平均実効デレージションが3～8年となるように運用し、投資家にとって魅力的で安定した収益源を提供することを目指します。
- ポートフォリオマネージャー：
  - ジム・スナイダー、シニア・ポートフォリオ・マネージャー、シニア・バイス・プレジデント、政府機関・証券化商品グループ
  - ジェレマイア・チャールズ、シニア・ポートフォリオ・マネージャー、シニア・バイス・プレジデント、政府機関・証券化商品グループ
  - オーウェン・アロンソン、ポートフォリオ・マネージャー、バイス・プレジデント、政府機関・証券化商品グループ

### ≫ パフォーマンス概要(%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
<b>ファンド・パフォーマンス*</b>							
基準価額(NAV)	1.20	8.35	8.35	—	—	—	5.82
市場価格	1.20	8.56	8.56	—	—	—	5.88
<b>指数パフォーマンス**</b>							
Bloomberg US Aggregate Bond Index	1.10	7.30	7.30	—	—	—	5.33
ICE US Treasury, Agency & MBS Index	1.01	6.87	6.87	—	—	—	4.67

引用されているパフォーマンスデータは過去のもので、過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp) から確認できます。

<sup>†</sup> 30日SEC利回りは、直近の30日間に獲得した1株当たりの純投資利益を、期末日の1株当たりの最大公開価格で割って算出されます。

\*基準価額（NAV）リターンは、ファンドの純資産（資産から負債を差し引いたもの）をファンドの発行済み株数で割った基準価額（NAV）に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額（NAV）リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

\*\*掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。

# ファーストトラスト 中期政府債 オポチュニティーズETF

2025/12/31

## ▶▶ ポートフォリオ情報

保有証券数	137
加重平均実効デュレーション (ロングポジション) <sup>1</sup>	8.29年
加重平均実効デュレーション (ショートポジション) <sup>1</sup>	-1.85年
加重平均実効ネット・デュレーション <sup>1</sup>	6.44年

## ▶▶ ファンドの構成 (%)

Agency CMOs	40.07
Agency Pass-Throughs	35.61
U.S. Treasuries	14.61
Agency CMBS	5.72
TBAs - Long	3.24
Non-Agency RMBS	1.68
Non-Agency CMBS	1.51
Cash & Cash Equivalents	-2.44

## ▶▶ 上位保有10証券 (%)

Fannie Mae FN MA4057, 2.50%, due 06/01/2050	3.53
Fannie Mae FN MA4319, 2%, due 04/01/2051	3.47
Fannie Mae FN MA4392, 2.50%, due 07/01/2051	3.46
Fannie Mae Series 2025-49, Class FA, Variable rate, due 06/25/2055	3.01
Fannie Mae FN BM7521, 3.50%, due 10/01/2048	2.94
Freddie Mac FR SL1523, 3.50%, due 07/01/2050	2.50
Fannie Mae Series 2012-118, Class VZ, 3%, due 11/25/2042	2.46
Fannie Mae FN BM4963, 3%, due 05/01/2048	2.36
Freddie Mac - SLST Series 2025-2, Class A2, 3%, due 10/25/2035	2.28
Fannie Mae Series 2014-60, Class EZ, 3%, due 10/25/2044	2.10

## ▶▶ 信用格付別 (%)<sup>2</sup>

現金および現金同等物	-2.44
米国債	14.61
エージェンシー	84.64
AAA	3.19

## ▶▶ デリバティブの使用率 (%)

債券先物 - ネット	-5.48%
債券先物オプション - ネット	-0.10%
金利先物オプション - ネット	-0.01%
TBAs - ショート	-1.76%

<sup>1</sup>金利変動に対する証券の感応度を示す尺度で、利回りが変化した場合の証券価格の変化を反映します。

<sup>2</sup>格付は、S&Pグローバル・レーティングス、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングス、DBRS、ノール債券格付け機関、または同等の格付けのNRSROを含む、全米で認知されている統計格付機関 (NRSRO) によるものです。1つの証券が複数のNRSROによって格付けされ、格付けが同等でない場合は、最も高い格付けが使用されます。信用格付とは、全米で認められた統計格付機関 (NRSRO) が提供する、債務に関する発行体の信用力の評価です。レーティングは、一般的にAAA (最高) からD (最低) の範囲のスケールで測定されます。投資適格とは、長期信用格付けがBBB-以上の発行体と定義されています。「NR」は評価がないことを示します。示されている信用格付は、ファンドの原証券の発行者の信用力に関するものであり、ファンドまたはその株式に関するものではありません。米国債、米国エージェンシー債、および米国政府機関の住宅ローン担保証券は、「政府/政府機関」に表示されます。信用格付けは変更される場合があります。

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書入手するには、**First Trust Japan (www.ftportfolios.jp)** にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

## リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

資産担保証券は債券証券の一種であり、一般的に米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされており、特に景気後退期には、原資産またはローンのデフォルトリスクにさらされます。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。

金利低下局面において、発行体が高利回りの債券をコールした場合、ファンドは低金利での資金運用を余儀なくされ、ファンドの収入が減少する可能性があります。

設定と償還の全部または一部が、現物ではなく現金で行われるファンドは、税効率が低くなる可能性があります。

ファンドは、取引相手がその義務を履行しないリスクにさらされる可能性があり、その結果、ファンドに重大な財務的損失が生じる可能性があります。

債券証券の発行者、またはその他の債務者が配当、利息、および/または元本の支払期日を守れない、または行う意思がない場合、その結果、証券の価値が下落する可能性があります。

信用格付機関が付与する格付は、当該企業の意見であり、信用力の絶対的な基準ではなく、有価証券のリスクを評価するものではありません。信用格付けを決定するプロセスにおける欠点や非効率性は、ファンドが保有する証券の信用格付けや、その認識または実際の信用リスクに悪影響を及ぼす可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混乱、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事がファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

債券への投資は、保有者に発行体の信用リスクを負わせ、債券の価値は一般的に金利の変動に反比例して変動します。さらに、債券は通常、証券取引所で取引されないため、流動性が低く、評価が難しくなります。

デリバティブ商品の使用には、カウンターパーティリスク、バリュエーションリスク、ボラティリティリスク、流動性リスクなど、証券に直接投資するリスクとは異なる、場合によってはより大きなリスクが伴います。さらに、原資産の価格または価値、指数またはレートの不利な動きによる損失は、デリバティブの特定の特徴によって拡大される場合があります。

ファンドは他のETFの株式に投資する場合がありますが、これには、原資産ファンドへの直接投資には存在しない追加費用が含まれます。さらに、ファンドの運用パフォーマンスとリスクは、原資産ファンドの運用パフォーマンスとリスクに関連している場合があります。

エクステンション・リスクとは、金利が上昇すると、発行者（またはその他の義務を負う当事者）による特定の債務の返済が予想よりも遅くなり、これらの債務証券の価値が下落するリスクです。金利の上昇は、債券のデュレーションを長期化する傾向があり、その市場価値は金利変動に対してより敏感になります。

変動利付証券は、証券のクーポンレートが参照レートの水準に基づいて変動するように構成されています。その結果、変動金利証券のクーポンは、金利が下がると一般的に減少し、ファンドは証券から受け取る収入が減少します。変動金利証券のクーポンレートは、証券の条件に従って定期的にリセットされます。その結果、金利が上昇する環境下では、利率のリセット頻度が低い変動金利証券は、市場金利の変動に遅れをとる可能性があります。

先物契約のポジションのリスクは、ファンドが預ける必要のある証拠金の比較的低いレベルと比較して非常に大きい場合があり、先物契約の比較的小さな価格変動は、証拠金の預金のサイズに比べて即時に多額の損失をもたらす可能性があります。

ハイイールド債、または「ジャンク債」は、格付けの高い証券よりも流動性が低く、市場の変動や損失リスクが大きいため、投機的と考えられています。

ファンドの収益は、金利の低下やポートフォリオにデフォルトが発生した場合に減少する可能性があります。ファンドは、ファンドの取引活動、規模、変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

インフレの進行によりファンドの資産と分配金の現在価値が低下する可能性があります。

金利リスクとは、金利の上昇により、ファンドのポートフォリオ内の債券証券の価値が下がるリスクです。金利リスクは、一般的に短期債券証券の方が低く、長期債券証券の方が高くなります。

レバレッジによって当初の投資額を超える損失の発生や、また損失率も加速する可能性があります。レバレッジは資産または資産クラスに対するファンドのエクスポージャーの増減の影響を、場合によって大幅に拡大する傾向があるため、ファンドの株式価値が変動し、市場の変動に敏感になる可能性があります。

ファンドがロンドン銀行間取引金利 (LIBOR) を参照金利として使用する変動金利または変動金利の債務に投資する限り、LIBORリスクの影響を受けます。LIBORは参照レートとして利用できなくなりました。また、担保付翌日物調達金利 (SOFR) を含む代替参照レートがLIBORと類似、LIBORと同額または経済的同等性を生み出すという保証はありません。LIBORの利用不可または代替された場合、特定のファンド投資価値、流動性、またはリターンに影響を与える可能性があり、ポジションの決済や新規取引の開始に関連した費用が発生する可能性があります。LIBORからの移行がファンドまたはファンドが投資する特定の商品に及ぼす潜在的な影響の予測は難しく、ファンドに損失をもたらす可能性があります。

特定のファンド投資は、転売、店頭取引、または取引量に限定がある場合、または活発な取引市場が不足している場合があります。流動性の低い証券は割引価格で取引される場合があり、市場価値の大幅な変動の影響を受ける可能性があります。

次ページにて追加リスクをご覧ください。

## リスクに関する考慮事項（続き）

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメイカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメイカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

現金を保有したり、マネーマーケットや短期証券に投資するファンドは、投資目的を達成する可能性が低く、損失を被る可能性があります。

住宅ローン関連の証券は、不動産の価値に影響を与える不利な経済的、政治的、または規制上の事象の影響を受けやすくなります。

非政府発行体が提供する有価証券の支払いについて、政府機関による保証はないため、発行体の信用リスクにさらされます。非政府機関系証券は「店頭」で取引されることが多く、市場が限られているため、評価が難しくなる可能性があります。

「非分散型」に分類されたファンドは、その資産の比較的高い割合を限られた数の発行体に投資する可能性があります。その結果、ファンドがこれらの発行体の1つまたは複数に影響を与える単一の不利な経済的、または規制的事象の影響を受けやすくなり、ボラティリティが増加し、特定の発行体が高く集中する可能性があります。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々は運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カストディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

オプションの価格は変動が激しく、オプションの効果的な使用は、ファンドが望ましいと思われる時間にオプションのポジションを終了する能力にかかっています。ファンドが特定の時期、または許容可能な価格で取引を終了できるという保証はありません。

OTCデリバティブは取引所で取引されないため、OTCデリバティブの当事者は、カウンターパーティリスク、流動性リスク、評価リスクの高レベルに直面します。

ポートフォリオの回転率が高いと、取引コストが高くなり、株主の税負担が大きくなる可能性があります。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

期限前返済リスクとは、債務証券の発行者が予定された満期日より前に元本を返済するリスクです。前払いを認める債務証券は、ファンドが前払いの収益を低金利で再投資する必要がある場合があるため、金利が下がる期間中の利益の可能性が低くなる可能性があります。

空売りは特別なリスクを生み出し、その結果として利益または損失の増加とリターンの変動につながる可能性があります。空売りの損失は、空売りされた証券の価値の上昇から発生するため、そのような損失は理論的に無制限です。

単一の資産クラス、国、地域、業界、セクターへのエクスポージャーが大きいファンドは、広く分散されたファンドよりも、経済的または政治的な不利な展開の影響をより受ける可能性があります。

スワップ契約は、証券への直接投資よりも大きなリスクを伴う場合があり、原資産または資産が予想どおりに機能しない場合、損失につながる可能性があります。さらに、多くのスワップは店頭で取引され、流動性が低いと見なされる場合があります。スワップ契約は、証券への直接投資よりも大きなリスクを伴う場合があり、原資産または資産が予想どおりに機能しない場合、損失につながる可能性があります。さらに、多くのスワップは店頭で取引され、流動性が低いと見なされる場合があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

連邦政府機関および米国政府が後援機関によって発行または保証された証券は、米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされている場合とそうでない場合があります。

ファンドが保有する証券やその他の資産は、市場相場以外の要素に基づいて評価される可能性があります。これは、資産または証券が中央集権的な取引所で取引されないため、または市場の混乱や流動性の低下時に発生する可能性があります。「公正評価」資産や有価証券など、市場相場以外の手法を使用して評価されたポートフォリオ保有は、市場相場が使用された場合よりも、日によって評価に大きな変動が生じる可能性があります。ファンドがいつでも設定された価値で売却またはポートフォリオポジションをクローズできるという保証はありません。

ファンドは、市場全体よりもボラティリティが高い証券に投資する場合があります。

発行日未定（以下「未定」）、遅延引渡し、またはフォワード・コミットメント・ベースでの証券の購入は、投資レバレッジを生じさせ、ファンドのボラティリティとデフォルトへのエクスポージャーが高まる可能性があります。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファースト・トラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供したものではありません。ファーストトラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

## 定義

ICE 米国債、エーゼンシー、MBS指数は、米国債、準政府債、住宅ローンバスルー債を含む米国国内市場で公開している米ドル建て投資適格債のパフォーマンスに連動する指数です。ブルームバーグ米国総合債券指数は、米国債、国債、社債、MBS、ABS、CMBSなど、投資適格の米ドル建て固定金利課税債券市場を対象としています。米国投資適格機関資本証券指数は、米国国内市場で公に発行された米ドル建ての投資適格ハイブリッド・キャピタル・コーポレート証券および優先証券のパフォーマンスに連動する指数です。

As of 31/12/25

### >> Fund Objective

This actively managed exchange-traded fund seeks to maximize long-term total return.

### >> Fund Facts

Fund Ticker	MGOV
ISIN	US33738D8386
CUSIP	33738D838
Intraday NAV	MGOVIV
Fund Inception Date	2/8/23
Total Expense Ratio	0.66%
30-Day SEC Yield <sup>†</sup>	3.62%
Primary Listing	NYSE Arca

### >> Fund Description

- >> Under normal market conditions, the fund will seek to achieve its investment objectives by investing at least 80% of its net assets (plus any borrowings for investment purposes) in a portfolio of debt securities issued or guaranteed by the U.S. government (including U.S. Treasury bonds, notes and bills), its agencies or government-sponsored entities ("Government Securities").
- >> The portfolio management team uses an investment process that is a disciplined, rigorous and repeatable combination of top down macro-economic views with quantitatively driven risk based hedges, coupled with bottom up security selection that includes:
  - **Total Return Scenario Analysis:** Evaluate individual security and portfolio level returns which are quantitatively exposed to interest rate, yield curve, and credit spread movements or "shocks".
  - **Security Selection & Sector Analysis:** Perform top-down review of core MBS and Treasury sectors to determine sector positioning weights based on macro market fundamentals. Then perform bottom-up analysis of individual securities to determine the sub-sectors to overweight, neutral weight, and underweight.
  - **Surveillance:** Analyze holdings on a systematic basis to monitor any changes in security and portfolio performance, along with meaningful changes in risk factors.
  - **Performance Attribution:** Perform granular total return analysis of key portfolio attributes such as duration, credit quality, yield, sector and liquidity.

### >> Fund Advisor

- >> The portfolio is selected and managed by First Trust Advisors L.P.
  - The portfolio managers will manage the fund's portfolio to have a weighted average effective duration of three to eight years and seek to provide an attractive, steady stream of income for investors.
- >> Portfolio Managers:
  - Jim Snyder, Senior Portfolio Manager, Senior Vice President, Government & Securitized Products Group
  - Jeremiah Charles, Senior Portfolio Manager, Senior Vice President, Government & Securitized Products Group
  - Owen Aronson, Portfolio Manager, Vice President, Government & Securitized Products Group

### >> Performance Summary (%)

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
<b>Fund Performance*</b>							
Net Asset Value (NAV)	1.20	8.35	8.35	—	—	—	5.82
Market Price	1.20	8.56	8.56	—	—	—	5.88
<b>Index Performance**</b>							
Bloomberg US Aggregate Bond Index	1.10	7.30	7.30	—	—	—	5.33
ICE US Treasury, Agency & MBS Index	1.01	6.87	6.87	—	—	—	4.67

*Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp).*

<sup>†</sup>30-day SEC yield is calculated by dividing the net investment income per share earned during the most recent 30-day period by the maximum offering price per share on the last day of the period.

\*NAV returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. Market Price returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

\*\*Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

## >> Portfolio Information

Number Of Holdings	137
Weighted Average Effective Duration (Long Positions)	8.29 Years
Weighted Average Effective Duration (Short Positions)	-1.85 Years
Weighted Average Effective Net Duration	6.44 Years

## >> Fund Composition (%)

Agency CMOs	40.07
Agency Pass-Throughs	35.61
U.S. Treasuries	14.61
Agency CMBS	5.72
TBAs - Long	3.24
Non-Agency RMBS	1.68
Non-Agency CMBS	1.51
Cash & Cash Equivalents	-2.44

## >> Top Holdings (%)

Fannie Mae FN MA4057, 2.50%, due 06/01/2050	3.53
Fannie Mae FN MA4319, 2%, due 04/01/2051	3.47
Fannie Mae FN MA4392, 2.50%, due 07/01/2051	3.46
Fannie Mae Series 2025-49, Class FA, Variable rate, due 06/25/2055	3.01
Fannie Mae FN BM7521, 3.50%, due 10/01/2048	2.94
Freddie Mac FR SL1523, 3.50%, due 07/01/2050	2.50
Fannie Mae Series 2012-118, Class VZ, 3%, due 11/25/2042	2.46
Fannie Mae FN BM4963, 3%, due 05/01/2048	2.36
Freddie Mac - SLST Series 2025-2, Class A2, 3%, due 10/25/2035	2.28
Fannie Mae Series 2014-60, Class EZ, 3%, due 10/25/2044	2.10

## >> Credit Quality (%)<sup>2</sup>

Cash & Cash Equivalents	-2.44
U.S. Treasuries	14.61
Agency	84.64
AAA	3.19
>> Derivatives Usage (%)	
Bond Futures - Net	-5.48%
Options on Bond Futures - Net	-0.10%
Options on Interest Rate Futures - Net	-0.01%
TBAs - Short	-1.76%

<sup>1</sup>A measure of a security's sensitivity to interest rate changes that reflects the change in a security's price given a change in yield.

<sup>2</sup>The ratings are by one or more nationally recognized statistical rating organizations (NRSROs), including S&P Global Ratings, Moody's Investors Service, Inc., Fitch Ratings, DBRS, Inc., Kroll Bond Rating Agency, Inc. or a comparably rated NRSRO. For situations in which a security is rated by more than one NRSRO and the ratings are not equivalent, the highest rating is used. A credit rating is an assessment provided by a NRSRO, of the creditworthiness of an issuer with respect to debt obligations. Ratings are measured on a scale that generally ranges from AAA (highest) to D (lowest). Investment grade is defined as those issuers that have a long-term credit rating of BBB- or higher. "NR" indicates no rating. The credit ratings shown relate to the creditworthiness of the issuers of the underlying securities in the fund, and not to the fund or its shares. U.S. Agency and U.S. Agency mortgage-backed securities appear under "Agency". Credit ratings are subject to change.

*You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan at [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp) to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.*

## Risk Considerations

**You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus and Statement of Additional Information for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.**

Asset-backed securities are a type of debt security and are generally not backed by the full faith and credit of the U.S. government and are subject to the risk of default on the underlying asset or loan, particularly during periods of economic downturn.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

During periods of falling interest rates if an issuer calls higher-yielding debt instruments, a fund may be forced to invest the proceeds at lower interest rates, likely resulting in a decline in the fund's income.

A fund that effects all or a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind may be less tax-efficient.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

An issuer or other obligated party of a debt security may be unable or unwilling to make dividend, interest and/or principal payments when due and the value of a security may decline as a result.

Ratings assigned by a credit rating agency are opinions of such entities, not absolute standards of credit quality and they do not evaluate risks of securities. Any shortcomings or inefficiencies in the process of determining credit ratings may adversely affect the credit ratings of the securities held by a fund and their perceived or actual credit risk.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. For example, changes in governmental fiscal and regulatory policies, disruptions to banking and real estate markets, actual and threatened international armed conflicts and hostilities, and public health crises, among other significant events, could have a material impact on the value of the fund's investments.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Investments in debt securities subject the holder to the credit risk of the issuer and the value of debt securities will generally change inversely with changes in interest rates. In addition, debt securities generally do not trade on a securities exchange making them less liquid and more difficult to value.

The use of derivatives instruments involves different and possibly greater risks than investing directly in securities including counterparty risk, valuation risk, volatility risk, and liquidity risk. Further, losses because of adverse movements in the price or value of the underlying asset, index or rate may be magnified by certain features of the derivatives.

A fund may invest in the shares of other ETFs, which involves additional expenses that would not be present in a direct investment in the underlying funds. In addition, a fund's investment performance and risks may be related to the investment performance and risks of the underlying funds.

Extension risk is the risk that, when interest rates rise, certain obligations will be paid off by the issuer (or other obligated party) more slowly than anticipated, causing the value of these debt securities to fall. Rising interest rates tend to extend the duration of debt securities, making their market value more sensitive to changes in interest rates.

Floating rate securities are structured so that the security's coupon rate fluctuates based upon the level of a reference rate. As a result, the coupon on floating rate securities will generally decline in a falling interest rate environment, causing a fund to experience a reduction in the income it receives from the security. A floating rate security's coupon rate resets periodically according to the terms of the security. Consequently, in a rising interest rate environment, floating rate securities with coupon rates that reset infrequently may lag behind the changes in market interest rates.

The risk of a position in a futures contract may be very large compared to the relatively low level of margin a fund is required to deposit and a relatively small price movement in a futures contract may result in immediate and substantial loss relative to the size of margin deposit.

High yield securities, or "junk" bonds, are less liquid and are subject to greater market fluctuations and risk of loss than securities with higher ratings, and therefore, are considered to be highly speculative.

A fund's income may decline when interest rates fall or if there are defaults in its portfolio.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

Interest rate risk is the risk that the value of the debt securities in a fund's portfolio will decline because of rising interest rates. Interest rate risk is generally lower for shorter term debt securities and higher for longer-term debt securities.

Leverage may result in losses that exceed the amount originally invested and may accelerate the rates of losses. Leverage tends to magnify, sometimes significantly, the effect of any increase or decrease in a fund's exposure to an asset or class of assets and may cause the value of a fund's shares to be volatile and sensitive to market swings.

To the extent a fund invests in floating or variable rate obligations that use the London Interbank Offered Rate ("LIBOR") as a reference interest rate, it is subject to LIBOR Risk. LIBOR has ceased to be made available as a reference rate and there is no assurance that any alternative reference rate, including the Secured Overnight Financing Rate ("SOFR"), will be similar to or produce the same value or economic equivalence as LIBOR. The unavailability or replacement of LIBOR may affect the value, liquidity or return on certain fund investments and may result in costs incurred in connection with closing out positions and entering into new trades. Any potential effects of the transition away from LIBOR on a fund or on certain instruments in which a fund invests is difficult to predict and could result in losses to the fund.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

Please see additional risks on the following page.

## Risk Considerations (continued)

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

Mortgage-related securities are more susceptible to adverse economic, political or regulatory events that affect the value of real estate.

There are no government or agency guarantees of payments in securities offered by non-government issuers, therefore they are subject to the credit risk of the issuer. Non-agency securities often trade "over-the-counter" and there may be a limited market for them making them difficult to value.

A fund classified as "non-diversified" may invest a relatively high percentage of its assets in a limited number of issuers. As a result, a fund may be more susceptible to a single adverse economic or regulatory occurrence affecting one or more of these issuers, experience increased volatility and be highly concentrated in certain issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The prices of options are volatile and the effective use of options depends on a fund's ability to terminate option positions at times deemed desirable to do so. There is no assurance that a fund will be able to effect closing transactions at any particular time or at an acceptable price.

Because OTC derivatives do not trade on an exchange, the parties to an OTC derivative face heightened levels of counterparty risk, liquidity risk and valuation risk.

High portfolio turnover may result in higher levels of transaction costs and may generate greater tax liabilities for shareholders.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

Prepayment risk is the risk that the issuer of a debt security will repay principal prior to the scheduled maturity date. Debt securities allowing prepayment may offer less potential for gains during a period of declining interest rates, as a fund may be required to reinvest the proceeds of any prepayment at lower interest rates.

Short selling creates special risks which could result in increased gains or losses and volatility of returns. Because losses on short sales arise from increases in the value of the security sold short, such losses are theoretically unlimited.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

Swap agreements may involve greater risks than direct investment in securities and could result in losses if the underlying reference or asset does not perform as anticipated. In addition, many swaps trade over-the-counter and may be considered illiquid.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

Securities issued or guaranteed by federal agencies and U.S. government sponsored instrumentalities may or may not be backed by the full faith and credit of the U.S. government.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

A fund may invest in securities that exhibit more volatility than the market as a whole.

The purchase of securities on a when-issued, TBA ("to be announced"), delayed delivery or forward commitment basis may give rise to investment leverage and increase a fund's volatility and exposure to default.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan is the fund's sub-distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

## Definitions

The **ICE US Treasury, Agency & MBS Index** tracks the performance of US dollar denominated investment grade debt publicly issued in the US domestic market, including US Treasuries, quasi-governments and residential mortgage pass-throughs. The **Bloomberg US Aggregate Bond Index** covers the investment-grade, U.S. dollar-denominated, fixed-rate taxable bond market, including Treasuries, government-related and corporate securities, MBS, ABS, and CMBS.

## ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「P P M（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではなく、記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2026022703

---

**Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）**

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会  
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）  
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp